

「平成30年7月西日本豪雨災害対策本部」の設置

7月5日からの記録的な豪雨により、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、甚大な災害となりました。

PC建協ではこの災害に迅速な対応ができるよう、7月9日に本部と四国支部に「災害対策本部」と「現地災害対策本部」を、10日に中国支部に「現地災害対策本部」を設置して関係機関に支援を申し入れました。

7月10日、四国地方整備局を通じて地方自治体からの現地調査の支援要請があり、ただちに調査班を編成して、12日に橋梁の現地調査を実施し、17日に現地調査における考察を含めた「現地調査報告書」を提出しました。今後の追加調査等の要請に対応すべく、引き続き体制を継続しています。このたび被災された皆さまには心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

国土交通大臣がPC建協総会懇親会に初の出席

平成30年5月17日にホテルグランドアーク半蔵門で開催した「PC建協第6回定時総会」の懇親会に、国土交通大臣として初めて石井啓一大臣にご臨席を賜りご挨拶を頂戴いたしました。



▲ 懇親会での石井大臣

来夏の参議院選挙に佐藤のぶあき参議院議員を推薦

PC建協は、2019年夏の参議院選挙(比例代表)に向けて、佐藤のぶあき参議院議員を推薦し、第6回定時総会後に藤井敏道会長が佐藤議員に推薦状を手渡しました。

佐藤議員プロフィール

元国土交通事務次官。京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了。平成19年の参議院選挙に初当選。現在2期目。新潟県出身、70歳。



▲ 佐藤議員(右)と藤井会長(左)

褒章・受賞

●平成30年春の褒章 黄綬褒章
久保良太氏



▲ 黄綬褒章
久保良太氏

(株)日本ピーエス元社長、元PC建協理事。社業の発展ならびに業界団体の発展に寄与された功績に対し本賞が授与されました。また久保氏はPC建協の理事を25年間の長きにわたり歴任されました。

●平成29年度土木学会賞 田中賞
業績部門 杉本武司氏



▲ 土木学会 田中賞
業績部門
杉本武司氏

(株)ピーエス三菱特別顧問。コンクリート橋梁・複合橋梁における建設技術および更新技術の開発と発展への貢献に対し本賞が授与されました。杉本氏はPC建協副会長と広報委員長を4年にわたり歴任されました。

発注者との意見交換会が始まる

8月下旬より全国10カ所において発注者(各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局)との意見交換会が始まりました。

九州地方整備局を皮切りに9月から11月にかけて残り9カ所の意見交換会を順次開催します。



▲九州地方整備局との意見交換会

■PC建協からの提案

- ①年度工事量の安定的確保
- ②働き方改革の推進
- ・週休2日モデル工事の検証と課題
- ・若手技術者の活用を促進する入札制度の提案
- ③生産性向上の推進
- ・プレキャスト技術採用の拡大
- ・ICT技術を活用した維持管理の効率化

④インフラ長寿命化への対応

- ・PC橋の維持保全事業における設計者と施工者が連携した取り組み
- ・PC橋の維持保全に関する地方自治体への支援

コンクリート橋のプレキャスト化ガイドライン他の発行

国土交通省はコンクリート工の施工効率化を図る技術の指針として「コンクリート橋のプレキャスト化」と「コンクリート構造物における埋設型枠・プレハブ鉄筋」の2つのガイドラインを平成30年6月に発行しました。

このガイドラインはPC建協が幹事協会を務める橋梁等のプレキャスト化および標準化による生産性向上検討委員会が編さんしたものです。内容は「コンクリート橋のプレキャスト化」が予備設計段階での他のコンクリート橋梁形式との適正な比較検討、及びそれに基づく橋梁形式選定に関する留意事項。また「コンクリート構造物における埋設型枠・プレハブ鉄筋」は埋設型枠とプレハブ鉄筋の技術特性や留意事項です。

各ガイドラインは国土交通省Web「コンクリート工における生産性向上」からダウンロードできます。
<http://www.mlit.go.jp/tec/i-con-concrete.html>

第26回PC建築技術講習会を開催

平成30年6月22日に港区の建築会館大ホールで「第26回PC建築技術講習会」を開催しました。今年も東京会場の映像と音声を大阪会場へ同時配信し、東西合わせて423人が聴講しました。

各講習の建築物、講師、演題は次の通りです。

- ①伊予市本庁舎
 (株)日本設計 佐藤慶太
 「PC部材によって設計された地域に開かれた庁舎」
- ②日本郵政グループにおけるPC造の設計と施工の取り組み
 日本郵政(株) 城戸隆宏
 「PCS構造を採用した免震事務所ビルの構造設計を中心として」
- ③刈谷市立刈谷東中学校
 (株)アール・アイ・エー 野々部顕治、斎藤慶太
 「躯体のPCA化による高品質な学校建築」
- ④須賀川市新庁舎
 (株)佐藤総合計画 高橋英雄、渡邊朋宏
 「みんなの家」

第8回PC建協業務報告会を開催

平成30年7月19日にホテルグランドアーク半蔵門で「平成30年年度第8回PC建協業務報告会」を開催しました。今年は発注者をはじめ会員企業、賛助会員企業を含む総勢211人の参加がありました。報告会では五道仁実国土交通省大臣官房技術審議官の祝辞に続き、PC建協から次の7件を発表しました。

- ①週休2日実施に向けた取組み
- ②生産性向上(i-Construction)への取組み
- ③道路橋平方書の改定概要について
- ④最近の保全補修部会の活動について
- ⑤建築におけるPC緊張管理手法の提案
- ⑥新潟暴露試験調査報告
- ⑦撤去橋梁を用いた既設PC橋の補修補強技術の高度化に関する共同研究

その後、建山和由立命館大学理工学部環境システム工学科教授から「建設技術の新たなステージ i-Construction」と題した特別講演が行われました。

PC技術専門家を派遣

PC建協では学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家を派遣しています。

【中国支部】

平成30年5月25日に岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科の3年生約49人にPCの原理、部材断面の曲げ応力度の計算などの講義を行いました。

6月以降に実施したPC技術専門家の派遣講義

開催日	支部名	学校名
6月21日	関東	芝浦工業大学
6月26日	九州	九州大学大学院
6月27日	九州	九州大学
6月29日・7月3日・6日・10日	関東	日本大学生産工学部
6月29日・7月6日	関東	信州大学
7月3日	北陸	長岡技術科学大学
7月5日	北陸	福井工業大学
7月9日・10日・13日	関東	東京都市大学
7月10日	中部	大同大学
7月11日	九州	九州工業大学
7月11日・18日	関東	東洋大学
7月13日	関東	東京電機大学
7月13日	関西	舞鶴工業高等専門学校
7月17日	九州	琉球大学
7月17日	九州	佐賀大学
7月17日・23日	関東	群馬工業高等専門学校
7月19日	九州	宮崎大学
7月20日	関東	足利大学
7月20日・27日	関西	摂南大学
7月24日	関東	木更津工業高等専門学校
7月25日	関東	日本大学理工学部交通システム工学科

現場見学会を開催

PC建協支部が主催する現場見学会が各地で開催されました。

【中部支部】

平成30年6月12日に㈱IHIインフラ建設滋賀工場内で工場見学会を開催しました。参加者は、㈱建設技術研究所の社員4名で、当日はプレキャストPC床版の製作状況を見学後、座学として「プレキャストPC床版の製作工程と施工フロー」と、「特殊な形状のPC床版製作」の説明を実施しました。

● 6月以降に実施した現場見学会

【北陸支部】

平成30年6月22日金沢外環状線道路「浅野川橋梁」

【東北支部】

平成30年7月4日福島県いわき市豊間四倉線「東舞子橋」

福島工業高等学校都市システム工学科41人

【関東支部】

平成30年8月2日ピー・エス・コンクリート(株)茨城工場
関東地方整備局9人

各地でPC技術講習会開催

PC技術に関する講習会が各地で開催され、講師を派遣しました。

【北海道支部】

平成30年7月27日に札幌市のホテルモントレ札幌で「平成30年度第1回技術講習会」を開催しました。当日は(一社)建設コンサルタント協会所属の技術者を対象にPC橋の基礎から設計・計画および架設に関する講義を行いました。

6月以降に実施したPC技術講習会

開催日	支部名	対象者	講義内容
6月14日	中国	島根県職員、島根県内の市町村職員、施工業者及び建設コンサルタント業者	PC工事の最近の動向、ICT技術の活用、PC技術の変遷と復元設計、PC橋の点検要領、診断、補修・補強技術
6月20日	九州	沖縄県職員	PC上部工に関する架設術架設の積算
6月29日	関西	大阪府職員、大阪府内の市町村職員	PC橋梁の維持保全
8月21日	関西	滋賀県職員	PC橋梁の維持保全

平成30年度 EE東北'18に出展

建設事業の新材料や新工法などの展示会「EE東北'18」が平成30年6月6日～7日の2日間、仙台市の夢メッセみやぎで開催されました。28回目を迎えた今年は過去最多の1万6300人の来場がありました。

今年もPC建協東北支部が共催する「高校生『橋梁模型』作品発表会」に入賞した12校の作品の展示コーナーが設けられました。同支部もブース出展し、パネルなどで「地域を支えるPC技術」をPRしました。このほか「ドローン(UAV)競技会」が開催され、計15チームが空撮技術、計測技術、飛行操縦技術を競う様子を延べ2100人が観戦しました。



▲ EE東北'18のPC建協ブース

ひょうご基幹道路ネットワークシンポジウムを開催

平成30年8月から「ひょうご基幹道路ネットワークシンポジウム（主催：兵庫県など）」が開催されています。8月1日に高砂市文化保健センターで行われた第1回では、播磨臨海地域道路をテーマに藤井聡京都大学大学院工学研究科教授（内閣官房参与）の基調講演などが行われました。当日は関西支部もブースを出展しました。

9月には、神戸市で大阪湾岸道路西伸部と名神湾岸連絡線をテーマに、また10月には、豊岡市で北近畿豊岡自動車道と山陰近畿自動車道をテーマに開催されます。

開通情報

（北陸支部）

南加賀道路栗津ルート（小松市矢田町～矢田野町）開通

平成30年5月20日に石川県南加賀道路栗津ルートの小松市矢田町～矢田野町（延長0.9km）が開通しました。この開通によってJR北陸本線で分断されていた地域間の交流が促進され、小松空港から栗津温泉や矢田野工業団地へのアクセスが向上しました。

矢田町で催された開通式には地元自治体の関係者などが出席し、テープカット、くす玉開披、通り初めの祝賀パレードで道路の開通を祝いました。

道路橋示方書改定に伴う設計計算例講習会を開催

平成29年7月に「橋、高架の道路等の技術基準」（道路橋示方書）が改定され、平成30年1月1日以降に新たに着手する設計から適用されています。これを踏まえ、PC建協など4団体は6月から7月にかけて全国10会場場で橋梁技術者を対象に改定された道路橋示方書に基づく設計計算例の講習会を開催しました。また7月4日にはPC建協関東支部の主催で同改定に伴う「PC橋設計計算例の講習会」を開催しました。

第27回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム開催のお知らせ

（公社）プレストレストコンクリート工学会は、「第27回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」を平成30年11月8日と9日の2日間にあわせて愛媛県松山市のひめぎんホール（愛媛県民文化会館）で開催します。シンポジウムで

は特別講演会、一般学術講演会、企業などの技術展示などが行われ、わが国のPCの最新情報を得る絶好の機会となります。

平成29年7月九州北部豪雨災害における緊急対応に係る感謝状

平成30年6月25日、昨夏の九州北部豪雨災害に際してPC建協九州支部が実施した緊急現地調査に対し、鬼塚明文福岡県朝倉県土整備事務所長から感謝状をいただきました。

九州北部豪雨災害でPC建協は本部と九州支部に災害対策本部を設置し、災害協定に基づく橋梁調査の依頼を受けて国道・県道に架かる100橋以上を点検し、速やかに点検結果を報告しました。



▲ 感謝状を受けるPC建協九州支部

編集委員会

上野 進一郎（編集委員長）、 櫻福 浄（副委員長）、
高松 正伸（副委員長）、 大信田 秀治、 鈴木 裕二、 吉山 誠之、
石井 一生、 竹本 伸一、 的場 純一、 松嶋 憲昭

編集幹事会

久我 誠志（幹事長）、 小谷 仁（副幹事長）、 荒畑 智志（副幹事長）、
小出 武、 栗川 修、 南 浩郎、 大谷 圭介、 杉村 卓也、 木下 拓三、 菅野 隆、
岡本 修一、 清水 郁子、 上田 孝明、 岩崎 麻美、 小田切 隆幸

編集後記

構想60年余り、2024年全線開通を目指している圏央道について改めて検証してみました。その結果、圏央道が東京都周辺各県の発展に大きく影響を及ぼしていることが確認できました。また、圏央道のエリアを関西圏、中部圏、九州圏と比較した地図より、規模を実感していただけたでしょうか。今後においては、ミッシングリンクを解消し、3環状道路、9放射道路の開通を実現することにより、首都圏の国際的な評価も向上すると考えられます。

また、長年にわたり道路行政に携わられた谷口博昭氏の特別講演は、これからのインフラ整備の大きな指針を示されている、大変興味深いお話であったと思います。

毎年恒例の「PCのニューフェイスたち」では平成29年度に誕生したPC構造物の中から厳選した16作品を施工時の苦労等とともに紹介しています。様々な場面でのPC構造物の社会貢献と、最近増加傾向である補修補強工事、海外工事の状況も肌で感じられたでしょうか。読者の皆様がPC技術を身近に感じる機会の一助になればと思います。

（小田切）